



## 九州大学ユヌス&椎木ソーシャル・ビジネス研究センター主催 ソーシャル・ビジネス・デザイン・コンテスト「YY Contest 2018 グランドチャンピオン大会」を開催

ソーシャル・ビジネス・デザイン・コンテストのユヌス&ユーコンテスト（YYコンテスト2018）は、グラミン銀行創設者であり、ノーベル平和賞受賞者であるバングラデシュのムハマド・ユヌス博士が提唱するソーシャル・ビジネスを具現化するために、日本で唯一のユヌスセンターである九州大学ユヌス&椎木ソーシャル・ビジネス研究センター（SBRC）が開催するコンテストです。革新的なソーシャル・ビジネスの創出を目的とし、過去6回の開催でも、自立的・持続的に社会的課題を解決するビジネスを創出してきました。メンター伴走型の丁寧な取組と、豪華ゲストによる充実したワークショップが特徴です。2018年度は応募年齢制限を65歳まで大幅に引き上げ、全国から参加者134チーム、メンター74名にエントリーしていただきました。その中から選考した61チームとともに、東京と福岡を中継しながら2カ所同時開催し、約5ヵ月間にわたって、ワークショップとメンタリングを重ねてきました。いよいよ部門本選（一般/学生）で選ばれた6チームが、ファイナリストとして優勝を目指します。

日時 : 2018年10月6日（土）13:00～18:55（受付12:40～）

会場 : 法政大学 外濠校舎 407号室 東京都千代田区富士見2-17-1

定員 : 210名（申し込み先着順）

会費 : 無料

申込 : Googleフォーム <https://goo.gl/forms/HUAYEfgaPqzgz9t1>

Peatix <https://yycontest2018grandchampion.peatix.com/>

※メディアの方も取材いただけます。取材ご希望の方は 10月3日（水）15:00までに [akikofish@sbrc.kyushu-u.ac.jp](mailto:akikofish@sbrc.kyushu-u.ac.jp)まで申し込みをお願いいたします。

### 【優勝 賞品】

- ・Global Social Business Summit（2018年11月8日、9日ドイツ）への渡航費・参加費。
- ・九州大学 SBRC 広報媒体での紹介。 ・記念品

### 【SBFA 賞 賞品】

- ・YY コンテスト アジア-パシフィック（2018年10月27日政大学で開催）に日本代表として参加。

### 【NTT 西日本賞 賞品】

- ・NTT 研究所へ招待、技術者とともに今後のビジネスプランをブラッシュアップする機会が提供される。

### 【ボーダレス・ジャパン賞 賞品】

- ・同社より資金、人材、マーケティングや経営戦略等のバックアップを受け、グループ会社として起業する権利。

### 【サンパワー賞 賞品】

- ・グラミンググループとの合弁会社（グラミン・ジャパン・サンパワー・オート）を立ち上げた同社から、資金、メンタリングなど起業に必要な支援を得られる。

### 【大吉財団賞 賞品】

- ・一般財団法人大吉財団より企業に必要な各種支援（資金・経営アドバイス・人脈紹介等）を得られる。

### 【ウーマン賞 賞品】

- ・ダイヤル・サービス株式会社（代表取締役・今野由梨）にてインターンシップを行うことができる。

### 【Veolia 賞 賞品】

- ・ヴェオリア・ジャパン株式会社にてインターンシップを行うことができる。

### 【お問い合わせ】

九州大学ユヌス&椎木ソーシャル・ビジネス研究センター（SBRC）

フィッシュ明子

電話:092-553-9481 FAX:092-553-4578 Mail:[akikofish@sbrc.kyushu-u.ac.jp](mailto:akikofish@sbrc.kyushu-u.ac.jp)



ユヌス&ユー ソーシャル・ビジネス・デザイン・コンテスト  
**グランドチャンピオン大会**

**PROGRAM**

# YY CONTEST 2018 Grand Champion Round

グラミン銀行創設者であり、ノーベル平和賞受賞者であるバングラデシュのムハマド・ユヌス博士が提唱するソーシャル・ビジネスを具現化するために、日本で唯一のユヌスセンターである九州大学ユヌス&椎木ソーシャル・ビジネス研究センター(SBRC)が開催するYYCONTEST。

革新的なソーシャル・ビジネスの創出を目的とし、過去6回の開催でも、自立的・持続的に社会的課題を解決するビジネスを創出してきました。メンター伴走型の丁寧な取り組みと、豪華ゲストによる充実したワークショップが特徴です。

2018年度は参加者134チーム、メンター74名にエントリーしていただき、その中から選考した61チームとともに、東京と福岡を中継しながら2か所同時開催し、約5か月間にわたって、ワークショップとメンタリングを重ねてきました。いよいよ部門本選(一般/学生)で選ばれた6チームが、ファイナリストとして優勝を目指します。

## ユヌス・ソーシャル・ビジネスについて

グラミン銀行設立以来、ユヌス博士は次第に農業、漁業、再生可能エネルギー、IT、教育、母子保健、手織物などの分野ごとに会社を設立し、多角的なアプローチによる持続可能な貧困問題の解決を試みていきます。そして、マイクロクレジットから始まったさまざまな取り組みを包含し、資本主義経済の構造に根本的な変化をもたらすことができる新しい概念として、ノーベル平和賞受賞式典(2006年)においてはじめて「ソーシャル・ビジネス」という言葉を使いました。利己的であると同時に「利他的」な存在でもある人間が、他者の利益に専念する「ソーシャル・ビジネス」では、利益の最大化という個人的利益を追求する従来のビジネスと異なり、社会問題の解決を目的とし、持続可能な手段としてビジネスを行うため、次のような特徴があります。

- 目的 なんらかの社会問題の解決を目的とする事業であること
- 手段 ビジネスの手法を用い、自立・持続的であること
- 利益 利益は投資家への配当ではなく、社員の福利厚生や自社への再投資にまわすこと

### Six Principles of Grameen Social Business

1. Business objective <sup>will be</sup> to overcome poverty, or one or more problems (such as, education, health, technology access, environment, etc.) which threaten people and society; not profit maximization.
2. Financial and economic sustainability.
3. Investors get back <sup>the</sup> investment amount only. No dividend is given beyond investment money.
4. When investment amount is paid back, company profit stays with <sup>the</sup> company for expansion and improvement.
5. Environmentally conscious
6. Workforce get market wage with better working condition.
7. do it with joy

ユヌス博士が利他心に基づき、社会的目標の実現のみに専念する「損失なし、配当なしの会社」を経営していく実践のなかで蓄積されたエッセンスが以下の7原則です。

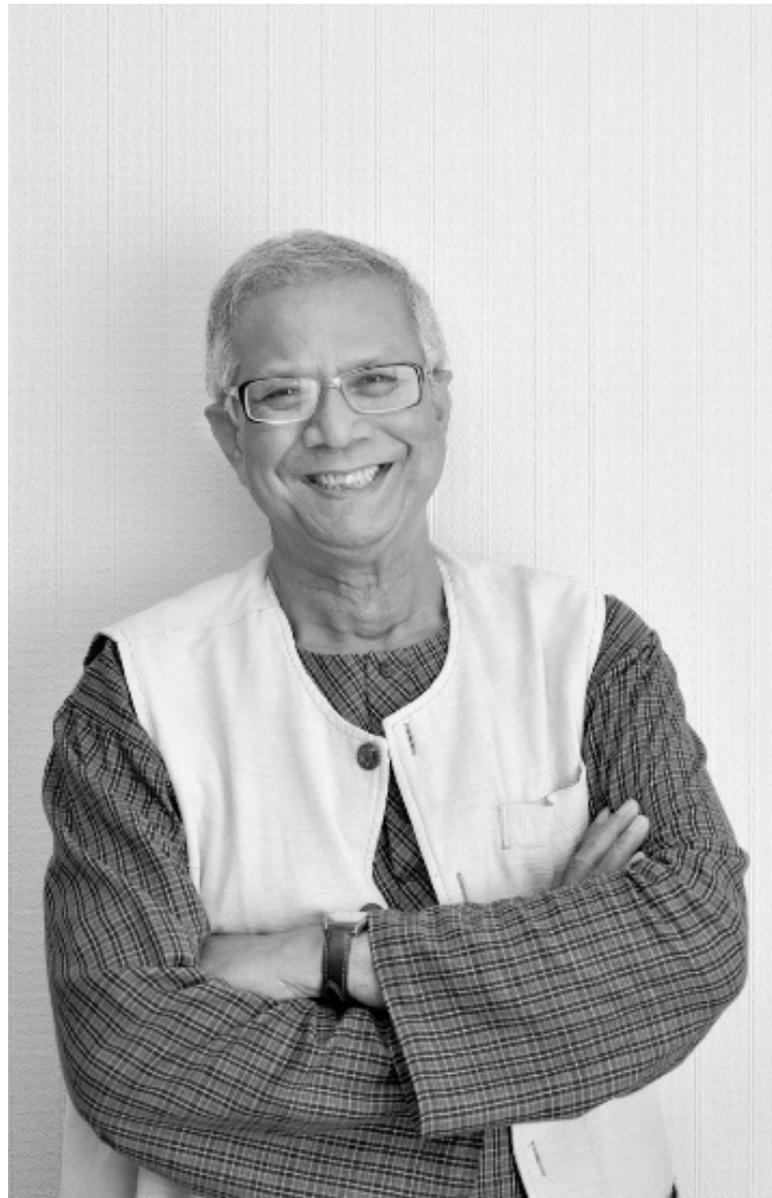
1. ソーシャル・ビジネスの目的は、利益の最大化ではなく、人びとや社会を脅かす貧困、教育、環境、保健衛生といった社会問題を解決すること
2. 経済的に自立し、持続性を確保すること
3. 投資家は投資額までは回収し、それを上回る配当は受けないこと
4. 投資の元本回収以降に生じた利益は、社員の福利厚生 の充実やさらなるソーシャル・ビジネス、自社に再投資されること
5. 環境に配慮すること
6. 雇用する社員にとってよい労働環境を保つこと
7. ……楽しみながら

ユヌス博士がバングラデシュで実践し確立してきた「ユヌス・ソーシャル・ビジネス」は、世界を変える新しいタイプのビジネスとして世界中から注目を集め、大企業との合弁会社設立、国連機関や教育・研究機関との連携、他国でのプロジェクトや事業展開、個人起業家の創出、学生ネットワークの形成など日々広がりつづけています。

1940年、バングラデシュ チッタゴン生まれ。チッタゴン・カレッジ、ダッカ大学を卒業後、チッタゴン・カレッジで経済学講師を務めたのち、米ヴァンダービルト大学で経済学博士号を取得。1972年にバングラデシュに帰国後、1974年の大飢饉による貧しい人々の窮状を目の当たりにして以来、同国の貧困撲滅のための活動を開始。1983年に無担保小口融資(マイクロクレジット)を行うグラミン銀行を創設した。「貧しい者のための信用制度には、抵当も担保も必要ない」という、ユヌス博士によるグラミン銀行の中核となる理念のもと、農村部の貧しい人々の自立を支援し、低所得者層の自営業者、特に貧しい女性に小口の融資を行い、同国の貧困軽減に大きく貢献した。

その功績が称えられ、2006年にグラミン銀行とともにノーベル平和賞を受賞。他、「アジアのノーベル賞」といわれるマグサイサイ賞、米国自由勲章、米国議会ゴールドメダル賞、世界食糧賞、日経アジア賞、福岡アジア文化大賞など世界各国、各地域より100以上の賞を授与されるほか、世界中の大学より40以上の名誉ある称号(名誉博士号など)を授与されている。

ビジネスの手法で貧困撲滅を目指すユヌス博士は、教育、医療、エネルギー、情報通信などの様々な社会課題を解決する50社以上のグラミン関連企業(グラミン・ファミリー)を経営。バングラデシュにおける地場産業の振興、通信技術の普及、再生可能エネルギーの利用などのソーシャル・ビジネスを展開・推進するとともに、国連や多国籍企業、大学等ともパートナーシップを組み、日々世界中でソーシャル・ビジネスを実践し続けている。



### 開催概要

日時：2018年10月6日(土)13:00～18:55

会場：法政大学 外濠校舎 407号室  
(東京都千代田区富士見 2-17-1)

定員：210名

会費：無料

主催：2018年度 YY CONTEST実行委員会

九州大学ユヌス&椎木  
ソーシャルビジネス研究センター(九州大学SBRC)

協力：株式会社アバージェンス

NTT西日本

ソフトバンク株式会社

株式会社ボーダレス・ジャパン

一般社団法人Grow As People

アスカレッジ株式会社

2.5 合同会社

株式会社メディア・ヴァーグ

法政大学 キャリアデザイン学部  
キャリア体験 田中研之輔クラス

### プログラム

12:40 — 受付

13:00 — 13:05 主催者挨拶  
九州大学SBRCセンター長 星野 裕志

13:05 — 13:10 挨拶  
法政大学 キャリアデザイン学部 教授  
田中 研之輔 氏

13:10 — 13:13 ムハマド・ユヌス博士ビデオメッセージ

13:13 — 13:35 ムハマド・ユヌス博士ビデオ講話  
「貧困を終わらせる3つの鍵」

13:35 — 14:05 講話  
「ユヌス・ソーシャル・ビジネスとは」  
九州大学SBRC 岡田 昌治  
—休憩(15分間)—

14:20 — 14:50 基調講演  
株式会社ボーダレス・ジャパン 創業社長  
田口 一成 氏

14:50 — 15:00 YYC 概要・審査員紹介

15:00 — 15:45 プラン発表(2チーム)  
—休憩(15分間)—

16:00 — 17:30 プラン発表(4チーム)  
—休憩(15分間)—

17:45 — 18:25 YSBカンパニーパネルディスカッション  
**【モデレーター】**  
法政大学 キャリアデザイン学部 教授  
田中 研之輔 氏  
**【パネラー】**  
ピープルポート株式会社 代表取締役社長  
青山 明弘 氏  
Trust.Inc CEO  
小野 祐紀香 氏  
Eighty Days株式会社 代表取締役社長  
グランジェ 七海 氏

18:25 — 18:50 結果発表・表彰式・撮影

18:50 — 18:55 クロージング



### 今野 由梨 氏

ダイヤル・サービス株式会社  
代表取締役社長

1936年三重県生まれ。津田塾大学英文学科卒業。1969年ダイヤル・サービス株式会社を設立、日本初の電話育児相談サービス「赤ちゃん110番」を開始。法規制と戦いながら、次々と時代にあったニュー・サービスを立ち上げた。「ベンチャーの母」とよばれアジアにも広い人脈を持つ。



### 野田 由美子 氏

ヴェオリア・ジャパン株式会社  
代表取締役社長

東京大学、ハーバードビジネススクール卒業後、邦銀の本店、NY・LDN支店、PwC英国本社ディレクターを経て同社日本パートナーに就任。日本のPFI市場の創設・普及に貢献。その後、横浜市副市長、清華大学日本研究センターシニア・フェロー、PwCアドバイザリー(株)インフラ部門統括パートナー、都市ソリューションセンター長を経て現職。



### 中村 正敏 氏

NTT西日本 ビジネスデザイン部  
オープンイノベーション推進室長

株式会社Meta Thinks.LTD CEO、一般社団法人「コトの共創ラボ」代表理事。企業・大学等各种プログラムのメンターなど多数。事業開発・サービス開発、オープンイノベーション、インキュベーションが専門。



### 田口 一成 氏

株式会社ボーダレス・ジャパン  
創業社長

2004年早稲田大学商学部を卒業し株式会社ミスミ入社。2006年に創業。社会起業家の夢が世界を変える、ビジネスを通して社会を変えるソーシャル・ビジネスしかやらない「ボーダレス・ジャパン」グループは、世界中で20事業を立ち上げ2017年度は43億円を売り上げた。



### 小林 ゆか 氏

ユヌス・よしもとソーシャルアクション株式会社  
代表取締役社長

セゾングループ、ソニー、資生堂でブランド戦略、企業戦略を担当。西武「LOFT」館のコンセプトと創館キャンペーン、マガジンハウス「Hanako」のコンセプトと創刊キャンペーンを手がける。吉本興業社長室を経て、現職。雑誌に小説やエッセイを連載。著書5冊。



### 川村 拓也 氏

株式会社サンパワー  
代表取締役社長

商社、外資系企業で勤務後34歳で(株)サンパワー入社。2017年9月にムハマド・ユヌス博士と合併会社((Grameen Japan Sunpower Auto)の営業を開始。現在「ムハマドユヌス博士とともに「廃タイヤリサイクル新規技術開発に向けたグローバル諮問機関」」を設



### 青井 介 氏

一般財団法人大吉財団  
事務局長

1982年生まれ。無名の芸術大学を卒業後、社内SE、デザイナー、ベンチャー企業の社長室といった職業を経て、2017年より子ども支援と災害支援を行う「大吉財団」の事務局長となる。キャリアを通して得た「わかりにくいことをわかりやすく伝える技術」を強みとしている。



### 岡田 昌治

九州大学ユヌス&椎木ソーシャルビジネス研究センター  
エグゼクティブディレクター

1979年電電公社に入社。米国子会社のNTTアメリカ(NY)、インターネット・ビジネスのNTT-Xなどにおいて国際法務を中心に幅広く担当。1979年東京大学法学部卒、1985年ワシントン大学経営大学院卒。米国ニューヨーク州弁護士資格、経営学修士号(MBA 1985)

# YY CONTEST 2018 Grand Champion Round

## モデレーター／パネリスト



### 田中 研之輔 氏

法政大学 キャリアデザイン学部  
教授

モデレーター

博士(社会学)。一橋大学大学院社会学研究科博士課程を経て、メルボルン大学、カリフォルニア大学バークレー校で客員研究員をつとめる。組織や経営のエスノグラフィーが専門。著書に『先生は教えてくれない大学のトリセツ』(ちくまプリマー新書)、『ルポ 不法移民』(岩波新書)、『井家の経営』(法律文化社)他多数。



### 青山 明弘 氏

ピープルポート株式会社  
代表取締役

パネリスト

1990年生まれ。神奈川県出身の二児の父。祖父母の経験談から「大切な人を理不尽に奪う戦争・紛争」に課題意識を持ち、ソーシャルビジネスでの紛争解決、被害者の支援を志す。ボーダレスジャパングループにて昨年12月、日本の難民雇用創出を目指すピープルポート株式会社を立ち上げる。



### 小野 祐紀 氏

Trust. Inc  
CEO

パネリスト

2006年：ムハマド・ユヌス氏ノーベル平和賞受賞に感銘。2009年：IT企業を退職しWebマーケティングで起業、独立。現在は、「レンタルオフィス」を東京とバンコクで運営。女性の起業における成功率を高めることを目標に女性起業家4,000名のコミュニティを主催する。

<http://www.womanscafe.com/>  
<https://lounge.dmm.com/detail/1187/>



### グランジェ 七海 氏

Eighty Days 株式会社  
代表取締役

パネリスト

慶應義塾大学総合政策学部卒業後、大手証券会社へ入社。その後、ハンズオン実行支援コンサルタントとしてアメリカ、日本にてプロジェクトに従事。スタートアップの執行役員を務めた後、Eighty Days 株式会社を創業。

## 賞

### 優 勝

- Global Social Business Summit 2018(11月8日、9日 ドイツ)への渡航費・参加費
- 九州大学 SBRC 広報媒体での紹介
- 記念品その他

### SBFA賞

YY コンテストアジアパシフィック(10月27日 法政大学)へ  
日本代表として参加

## 企業賞

### NTT 西日本賞

NTT 研究所へ招待し、技術者とともに今後のビジネスプランをブラッシュアップする機会を提供。

### サンパワー賞

グラミンググループとの合併会社(グラミン・ジャパン・サンパワー・オート)を立ち上げた同社から、資金、メンタリングなど起業に必要な支援を得られる。

### ウーマン賞

ダイヤル・サービス株式会社(代表取締役・今野由梨)にてインターンシップを行うことができる。

### ポーターレス・ジャパン賞

同社より資金、人材、マーケティングや経営戦略等のバックアップを受け、グループ会社として起業できる権利。

### 大吉財団賞

一般財団法人大吉財団より、企業に必要な各種支援(資金・経営アドバイス・人脈紹介等)を得られる。

### Veolia 賞

ヴェオリア・ジャパン株式会社にてインターンシップを行うことができる。

# YY CONTEST 2018

## Grand Champion Round

---

主 催	2018年度 YY CONTEST実行委員会 九州大学ユヌス&椎木ソーシャルビジネス研究センター(九州大学SBRC)
後 援	福岡市 福岡地域戦略推進協議会(Fukuoka D.C.)
協 力	株式会社アバージェンス 株式会社ボードレス・ジャパン NTT西日本 株式会社サンパワー ソフトバンク株式会社 株式会社メディア・ヴァーグ アスカレッジ株式会社 2.5合同会社 一般社団法人Grow As People 法政大学キャリアデザイン学部 キャリア体験 田中研之輔クラス アジア工科大学院 ユヌスセンター myHarapan 台湾国立中央大学 ユヌスセンター ラ・トローブ大学 ユヌス・ソーシャル・ビジネス・センター 一般社団法人ソーシャル・ビジネス・アカデミア・ネットワーク Grameen Creative Lab Yunus Centre Social Business Pedia Yunus Social Business The YY Foundation

---

ご協力いただきました皆様にお礼申し上げます。

### 九州大学ユヌス&椎木 ソーシャル・ビジネス研究センター(SBRC)

〒815-0032 福岡市南区塩原4丁目9番1号

E-mail [info@sbrc.kyushu-u.ac.jp](mailto:info@sbrc.kyushu-u.ac.jp)

URL <http://yycontest.org/>



#### FOLLOW US ON



Facebook  
<https://www.facebook.com/YY.Contest/>



Twitter  
[https://twitter.com/yy\\_contest](https://twitter.com/yy_contest)



Instagram  
<https://www.instagram.com/yycontest/>



# YY CONTEST 2018

## Grand Champion Round



### ユヌス&ユー ソーシャル・ビジネス・デザイン・コンテスト

## グランドチャンピオン大会

#### 日時

2018年10月6日(土) 13:00~18:55

#### 会場

法政大学 外濠校舎 407号室 (東京都千代田区富士見 2-17-1)

- [主催] 2018年度 YY CONTEST 実行委員会  
九州大学ユヌス&椎木ソーシャルビジネス研究センター(九州大学 SBRC)
- [協力] 株式会社アバージェンス  
株式会社ボードレス・ジャパン  
NTT 西日本  
株式会社サンパワー  
ソフトバンク株式会社  
株式会社メディア・ヴァーグ  
アスカレッジ株式会社  
2.5 合同会社  
一般社団法人 Grow As People  
法政大学キャリアデザイン学部 キャリア体験 田中研之輔クラス

# SBRC

 九州大学